

## 地域密着型サービスの自己評価票

| 項目                 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)         |
|--------------------|--|--------------------|---|
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |  |                    |   |
| <b>1. 理念と共有</b>    |  |                    |   |
| 1                  | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている       | ○                  | 今後は、地域密着サービスとしての理念も含めてつくっていききたい。        |
| 2                  | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                          |                    |   |
| 3                  | ○家族や地域への理念の浸透<br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | ○                  | 地域の方への浸透がまだまだと思われる。今後は地域に向けても取り組んでいきたい。 |
| <b>2. 地域との支えあい</b> |  |                    |   |
| 4                  | ○隣近所とのつきあい<br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている  |                    |   |
| 5                  | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている    |                    |   |

| 項目                           | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)       |
|------------------------------|---|--------------------|--------------------------------------|
| 6                            | <p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p> <p>現在は思い当たる地域貢献は取組まれていない。</p>   | ○                  | <p>今後は、スタッフ間でも話し合いを行い、取り組んでいきたい。</p> |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |   |                    |                                      |
| 7                            | <p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p> <p>外部評価結果後、ミーティングを行い、改善点について話し合い、活かせるようにしている。</p>                                  |                    |                                      |
| 8                            | <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている</p> <p>会議の中では、色々な面から話しを展開し、意見交換をしながら活かしている。</p>                         |                    |                                      |
| 9                            | <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> <p>運営推進委員会以外でも、行き来することが多く、質の向上のために助言などをいただいている。</p>                                 |                    |                                      |
| 10                           | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> <p>地域権利擁護事業や成年後見制度について研修をうけており、必要な方については活用できるよう支援している。</p> |                    |                                      |
| 11                           | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている</p> <p>虐待について研修などを受講したり、色々な場面で注意をしたり、また職員のメンタルケアに努めている。</p>              |                    |                                      |

| 項目                     | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいきたい項目)  | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                            |
|------------------------|--|---|--|
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |  |   |  |
| 12                     | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>            | <p>契約や重要事項に関して、十分に説明を行い理解していただくよう図っている。</p>                       |  |
| 13                     | <p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>           | <p>苦情・相談について、苦情解決委員会を設置しており、運営に反映させている。また、運営推進委員会で取り上げることもある。</p> |  |
| 14                     | <p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>         | <p>毎月発行する「お便り」にてホーム内の風景やイベント紹介、また、担当職員より手書きの近況報告の手紙を送付している。</p>   |  |
| 15                     | <p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>           | <p>苦情・相談について、苦情解決委員会を設置しており、運営に反映させている。また、運営推進委員会で取り上げることもある。</p> |  |
| 16                     | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>                       | <p>毎月行う「管理者会議」にて、各事業所より持ち寄られた意見や提案などを話し合い、運営に反映させている。</p>         |  |
| 17                     | <p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> | <p>始めに決めた勤務時間帯などにより、あまり柔軟とはいえない。</p>                              | <p>○ 利用者本位の生活や要望に応じた対応は、なかなかできていない。柔軟性を持って対応していくべきである。</p> |

| 項 目                | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------|---|------------------------|----------------------------------|
| 18                 | <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> |                        |                                  |
| <b>5. 人材の育成と支援</b> |   |                        |                                  |
| 19                 | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>              |                        |                                  |
| 20                 | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>    |                        |                                  |
| 21                 | <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>                                       |                        |                                  |
| 22                 | <p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>                           |                        |                                  |

| 項 目                              | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)                           | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                          |
|----------------------------------|--|--|--|
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>       |  |  |  |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |  |  |  |
| 23                               | ○初期に築く本人との信頼関係<br><br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                  | 相談があった時点で十分に話を聞き、受け止めていけるように努力をしている。             |  |
| 24                               | ○初期に築く家族との信頼関係<br><br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                       | まず、相談の時点で十分に話を聞き、その後も不安なことや求めていることを受け止める努力をしている。 |  |
| 25                               | ○初期対応の見極めと支援<br><br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                               | 本人と家族が必要としている支援を十分に見極め、ホームでできる支援はさせていただいている。     | ○ 他のサービス利用は含まれておらず、今後は必要に応じて検討しなければならない。                 |
| 26                               | ○馴染みながらのサービス利用<br><br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 本人が場の雰囲気に徐々に馴染めるよう、居室の雰囲気や家族の面会などを工夫している。        | ○ 本人が納得した上というのは、なかなか実現できていない。中には、いきなりのサービス利用になってしまう方もいる。 |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |  |  |  |
| 27                               | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br><br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                       | 入居者と一緒に楽しんだり苦しんだりするなど、同じ時間を共有しあう関係を築くよう努力している。   |  |

| 項 目 |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                              | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|--|--|------------------------|---------------------------------|
| 28  | ○本人を共に支えあう家族との関係<br><br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている         | 入居時には、家族にも頻繁に面会に来てもらえるよう協力を仰いだり、連絡をし合って家族と共に支援していくように努力している。 |                        |                                 |
| 29  | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br><br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している             | 面会に頻繁に来てもらうよう声かけしたり、イベントの参加や盆・正月の帰省など、関係を途切れさせることがないようにしている。 |                        |                                 |
| 30  | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br><br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている                | 馴染みの散髪屋やお寺参り、生家への訪問などの支援に努めている。                              |                        |                                 |
| 31  | ○利用者同士の関係の支援<br><br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている              | 認知状態により困難な部分はあるが、共同生活において孤立しないように努めている。                      |                        |                                 |
| 32  | ○関係を断ち切らない取り組み<br><br>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 契約が終了し、他の施設や病院に入院などしても、必要な時には必要な支援を行ったり、相談に乗ったりしている。         |                        |                                 |

| 項目                                    | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)                                 | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |  |
|---------------------------------------|---|--|--------------------------------|--|
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>    |   |  |                                |  |
| <b>1. 一人ひとりの把握</b>                    |   |  |                                |  |
| 33                                    | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している  | 一人一人の思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。                           | ○                              | 本人本位のケアに、なかなか繋がらない現状があり、課題として検討していかなくてはならない。 |
| 34                                    | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                    | アセスメントによって、一人一人のこれまでの生活歴などを把握するよう努めている。                |                                |  |
| 35                                    | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている  | 本人が出来ること、出来ないことの把握や心身状態など、総合的に把握するよう努めている。             |                                |  |
| <b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b> |   |  |                                |  |
| 36                                    | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | 毎月のミーティングで話し合ったり、本人とのコミュニケーションの中で見出したりしながら介護計画を作成している。 |                                |  |
| 37                                    | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 本人の状態などに応じて計画を作成し、対応できない変化が生じた場合には話しあいにより新たな計画を作成している。 |                                |  |

| 項 目                                | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|--|------------------------|---------------------------------|
| 38                                 | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p> <p>日々の生活や排泄パターンを個別に記録しており、職員が情報を共有できるように活かしている。</p> |                        |                                 |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |  |                        |                                 |
| 39                                 | <p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p> <p>本人や家族の状況や要望に応じて、柔軟な支援を行っている。</p>                           |                        |                                 |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |  |                        |                                 |
| 40                                 | <p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p> <p>地域、ボランティア、教育機関などの協力を得ながら支援を行っている。</p>                     |                        |                                 |
| 41                                 | <p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p> <p>意向や必要に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合うことはある。</p>  | ○                      | 他のサービスを利用するための支援にはつながっていない。     |
| 42                                 | <p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p> <p>権利擁護やケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。</p>     |                        |                                 |



| 項 目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)             |
|-----|--|------------------------|---|
| 43  | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>   |                        |   |
| 44  | <p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>  |                        |   |
| 45  | <p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>   |                        |   |
| 46  | <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>                      |                        |   |
| 47  | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>                                   | ○                      | <p>できるだけ早い段階で十分に話しあい、情報を全員で共有しなければならない。</p> |
| 48  | <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> |                        |   |

| 項 目                                 |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                   |
|-------------------------------------|--|--|------------------------|--|
| 49                                  | ○住み替え時の協働によるダメージの防止<br><br>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | 別の施設やホームに移り住む場合には、十分な情報提供と、急な環境変化により不安にならないように面会に行くなどして、ダメージを防ぐことに努めている。 |                        |  |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>    |  |  |                        |  |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>              |  |  |                        |  |
| <b>(1)一人ひとりの尊重</b>                  |  |  |                        |  |
| 50                                  | ○プライバシーの確保の徹底<br><br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                                       | 十分に行えていない。   | ○                      | 常に心がけるようにしているが、職員のストレスなどから、実際には誇りやプライバシーを損ねる言葉使いになってしまっているように思う。 |
| 51                                  | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br><br>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている                   | 日頃の業務に追われることが多く、なかなか本人の希望や決定の支援ができていないように思われる。                           | ○                      | 日常の業務の見直しを行い、本人が納得した暮らしを支援できるようにしなければならない。                       |
| 52                                  | ○日々のその人らしい暮らし<br><br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している                        | 柔軟性を持って対応しており、なるべく一人一人のペースを大切にするように努力している。                               | ○                      | 業務により優先することができないことが多い。希望にそった支援ができるようにしなければならない。                  |
| <b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b> |  |  |                        |  |
| 53                                  | ○身だしなみやおしゃれの支援<br><br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている                                    | 好きな色の服や服装など、好きなおしゃれができるように支援し、理美容も望む店に行けるように支援している。                      |                        |  |

| 項 目                                  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|--|------------------------|--------------------------------|
| 54                                   | <p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>    |                        |                                |
| 55                                   | <p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>           |                        |                                |
| 56                                   | <p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>       |                        |                                |
| 57                                   | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>   |                        |                                |
| 58                                   | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>                    |                        |                                |
| <b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b> |  |                        |                                |
| 59                                   | <p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p> |                        |                                |


| 項 目                   |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                 | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|--|---|------------------------|--------------------------------|
| 60                    | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>         | <p>判断が困難であるが、近くのスーパーに行った時には小額のお金を持って、好きな物を買うなどの支援を行っている。</p>    |                        |                                |
| 61                    | <p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>                           | <p>なるべく希望にそえるように支援している。</p>                                     |                        |                                |
| 62                    | <p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>        | <p>海やお墓参りなど、家族に協力してもらったり職員が対応するなどして機会をつくっている。</p>               |                        |                                |
| 63                    | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>                                  | <p>少しではあるが、荷物が届いたらお礼の電話をかけたたり、手紙が届けば返事を書くなどの支援はおこなっている。</p>     |                        |                                |
| 64                    | <p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>                   | <p>訪問時になるべく職員もコミュニケーションや楽しく会話をしたり、「いつでも来てください」という姿勢で対応している。</p> |                        |                                |
| <b>(4)安心と安全を支える支援</b> |  |   |                        |                                |
| 65                    | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | <p>身体拘束をしないケアに取り組んでいくように「身体拘束ゼロ委員会」を設置している。</p>                 |                        |                                |

| 項 目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)      |
|-----|---|------------------------|--------------------------------------|
| 66  | <p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>     | ○                      | <p>今後もずっと課題として、検討をしていかななくてはいけない。</p> |
| 67  | <p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>              |                        |                                      |
| 68  | <p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>        |                        |                                      |
| 69  | <p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>     |                        |                                      |
| 70  | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>               |                        |                                      |
| 71  | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> |                        |                                      |

| 項 目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                  |
|--|--|------------------------|---|
| 72<br>○リスク対応に関する家族等との話し合い<br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | リスクについては家族との話し合いは不十分かと思われる。                      | ○                      | 個別に考えられるリスクはたくさん挙げられるが、家族との話し合いは不十分であるため、今後は個別に話し合っていかなければならない。 |
| <b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>   |  |                        |   |
| 73<br>○体調変化の早期発見と対応<br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている           | 体調の変化には十分に注意しており、発見後すぐに看護師に連絡し指示を仰ぐように努めている。     |                        |   |
| 74<br>○服薬支援<br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている       | 全てではないが、大体は把握できており、変更などがあつたときには、周知できるように工夫している。  |                        |   |
| 75<br>○便秘の予防と対応<br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる         | なるべく日常生活活動により動くように取り組んだり、水分摂取や食物に配慮したりしている。      |                        |   |
| 76<br>○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている                   | 能力に応じて、介助したり見守りをしたりしている。また、定期的に義歯の消毒を行うなど配慮している。 |                        |   |
| 77<br>○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている      | 一人一人の状態に合わせて、食べる量や栄養バランス、水分量を考えている。              |                        |   |

| 項 目                            |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                         | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|---|---|------------------------|---------------------------------|
| 78                             | ○感染症予防<br><br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）   | 感染症マニュアルを作成しており、予防や対策に努めている。                            | ○                      | 全職員の周知と徹底は行えていないように思われる。        |
| 79                             | ○食材の管理<br><br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている  | 台所や調理器具の衛生管理には十分に注意しており、食中毒にならないように気をつけている。             |                        |                                 |
| <b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> |   |   |                        |                                 |
| <b>(1)居心地のよい環境づくり</b>          |   |   |                        |                                 |
| 80                             | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br><br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている                              | 玄関先にテーブルやイスを置いたり、花を飾るなど雰囲気作りを工夫している。                    |                        |                                 |
| 81                             | ○居心地のよい共用空間づくり<br><br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 対面式の台所で、調理の時にはいい匂いがしたり、ソファやテレビを置いて、好きな場所で過ごせるように工夫している。 |                        |                                 |
| 82                             | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br><br>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                              | ソファと別にイスやソファベッドを置き、一人になりたいときには、別の場所にいけるようにしている。         |                        |                                 |

| 項 目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|--|---|------------------------|--------------------------------|
| <p>83</p> <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み<br/>のものを活かして、本人が居心地よく過<br/>ごせるような工夫をしている</p> | <p>入居時に、その人が使い慣れた家具や装飾を持参<br/>してもらうように話をしている。その人らしい居<br/>室になるように支援している。</p>     |                        |                                |
| <p>84</p> <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよ<br/>う換気に努め、温度調節は、外気温と大き<br/>な差がないよう配慮し、利用者の状況に応<br/>じてこまめに行っている</p>   | <p>空調や換気は十分に配慮して行い、臭いがこもっ<br/>たり湿度や乾燥に配慮しながら支援している。</p>                         |                        |                                |
| <p>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p>  |   |                        |                                |
| <p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活か<br/>して、安全かつできるだけ自立した生活が<br/>送れるように工夫している</p>                 | <p>建物の造りから、十分なスペースがないために少<br/>し不自由な部分はあるが、なるべく安全に自立し<br/>た生活が送れるように工夫はしている。</p> |                        |                                |
| <p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱<br/>や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工<br/>夫している</p>                           | <p>ソファーや食事の時のテーブルの位置などが、次<br/>第に決まり、わかる力を活かして混乱を防ぐ配慮<br/>をしている。</p>             |                        |                                |
| <p>87</p> <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽し<br/>んだり、活動できるように活かしている</p>  | <p>裏に畑を作ったり、ホームの周りには遊歩道がで<br/>きたりと、散歩や活動に活かしている。</p>                            |                        |                                |

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



| V. サービスの成果に関する項目 |  | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 |              |
|------------------|--|-----------------------|--------------|
| 項 目              |  |                       |              |
| 88               | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                      |                       | ①ほぼ全ての利用者の   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいの |
|                  |  | ○                     | ③利用者の1/3くらいの |
|                  |  |                       | ④ほとんど掴んでいない  |
| 89               | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         |                       | ①毎日ある        |
|                  |  |                       | ②数日に1回程度ある   |
|                  |  | ○                     | ③たまにある       |
|                  |  |                       | ④ほとんどない      |
| 90               | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            |                       | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  | ○                     | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 91               | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                 |                       | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  | ○                     | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 92               | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                           |                       | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  | ○                     | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 93               | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている                     | ○                     | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 94               | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている          |                       | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  | ○                     | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 95               | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています |                       | ①ほぼ全ての家族と    |
|                  |  | ○                     | ②家族の2/3くらいと  |
|                  |  |                       | ③家族の1/3くらいと  |
|                  |  |                       | ④ほとんどできていない  |

| 項 目 |   | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。            |              |
|-----|---|----------------------------------|--------------|
| 96  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                        | <input type="radio"/>            | ①ほぼ毎日のように    |
|     |   | <input checked="" type="radio"/> | ②数日に1回程度     |
|     |   | <input type="radio"/>            | ③たまに         |
|     |   | <input type="radio"/>            | ④ほとんどない      |
| 97  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | <input type="radio"/>            | ①大いに増えている    |
|     |   | <input checked="" type="radio"/> | ②少しずつ増えている   |
|     |   | <input type="radio"/>            | ③あまり増えていない   |
|     |   | <input type="radio"/>            | ④全くいない       |
| 98  | 職員は、生き生きと働いている  | <input type="radio"/>            | ①ほぼ全ての職員が    |
|     |   | <input type="radio"/>            | ②職員の2/3くらいが  |
|     |   | <input checked="" type="radio"/> | ③職員の1/3くらいが  |
|     |   | <input type="radio"/>            | ④ほとんどいない     |
| 99  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           | <input type="radio"/>            | ①ほぼ全ての利用者が   |
|     |   | <input type="radio"/>            | ②利用者の2/3くらいが |
|     |   | <input checked="" type="radio"/> | ③利用者の1/3くらいが |
|     |   | <input type="radio"/>            | ④ほとんどいない     |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       | <input type="radio"/>            | ①ほぼ全ての家族等が   |
|     |   | <input checked="" type="radio"/> | ②家族等の2/3くらいが |
|     |   | <input type="radio"/>            | ③家族等の1/3くらいが |
|     |   | <input type="radio"/>            | ④ほとんどできていない  |

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

認知症ケアに一番必要なのは、職員の心のゆとりではないかと思うようになりました。最近では、メンタルケアということで、外部の専門の方によってメンタルトレーニングを行っています。また、職員間の助け合いや思いやりの心を育てるために「サンクスカード」を発行しています。これは、職員同士でやり取りするものですが、些細なことでも「ありがとう」を見つけ、カードに書いて相手に渡すものです。最初は照れてしまい、なかなか出せなかったのですが、今では「笑顔をありがとう」「手伝ってくれてありがとう」など、職員間で色んな「ありがとう」をみつけるようになりました。認知症ケアについてはまだまだですが、これから入居者に向けてのケアに影響していくと思います。